

自立と共生！

たくましい日本！

No. 181号

民主党 中川正春の

永田町かわら版

2003年1月20日

〒100-8981千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館428号室

TEL 03-3508-7128

FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>

E-mail g03063@shugiin.go.jp

○中国、北朝鮮国境地帯に行く

(その2)

北京では、通訳として延吉市に同行してくれる「柴君」、36歳が待っていてくれました。日本大使館に見放され、日本出発の前日、北京にいる私の古い友達を通じて急遽確保出来た人です。空港で、改めて、今回の訪問の目的と、周囲の状況を説明すると、一瞬、顔の表情が変わり、緊張が走りましたが、最後に腹を決めたかのように、「エクサイトイングだから、一緒に行きますよ。」と、言ってくれました。この辺が、中国社会が確実に変わってきた証拠なのかもしれません。

腹を決めた柴君、早速に、飛行機の乗り継ぎを待っている時間がもったいないから、北京の市内で、脱北者の聞き込みをしようと言いました。「朝鮮料理の店に行けば、そこに集ってくる人たちの中に、関係者が居る可能性があるから、私が話し掛けてみる。」と言います。タクシーで乗り入れた町並みには、ハングルがあふれ、足を入れたレストランも、朝鮮語で迎えてくれます。柴君も張り切って、尋ね始めたところ、そこで働く女の子達がなんと延吉周辺地域からの出身だと言う事が解かりました。多くの若者が、北京に働きに出てくるのだと言います。

「私の親戚でも、長く脱北者達をかくまっていた事がある。ブローカーのような組織が介在して、中国から韓国などの第三国に逃がしていると、聞いている。中には、人身売買のような形で、若い女性などが、売られる事もあると言う。私も、じかに北から逃げてきた人たちに会ったことがある。」こんな話を聞きだした後、「私達はこれから延吉に行って、あなたの親戚を訪ねて行きたいから、これで電話をかけてくれないか。」と、携帯電話を渡しました。住所など聞き出し、あったかい豚シャブで、力をつけて、店を後にし

に行かせないための中国当局の陰謀？」などと、頭をかすめたりして、ちょっとスリルな時間を過ごしました。辛抱強く待つこと2時間。無事出発。お蔭で、延吉到着が夜中の11時になります。

〔ここから先、次回に続く。ゴメンナサイ。〕

○民主党、党大会の正念場

20日から国会が始まり、今日〔18日〕は、民主党の定期党大会がありました。

党の再生に向けて、正念場の党大会。菅代表は、ここでは、具体的な政策に主眼を置いた挨拶が印象的でした。特に経済政策では、集中的な投資を新しい雇用を作り出すために、思い切ってやること。税をあげたり、国債を発行する前に、使い方の大改革が必要だと強調しています。

来賓で来てくれた、自由党の藤井幹事長や社民党の土井委員長が、「民主党よ、しっかりしろ。」と、厳しく言いながら、それでも、野党連携で、団結していく道しかないじゃないかと希望を託してくれる暖かいエールは、嬉しかった。一方、連合の笹森会長は、その言葉にも、顔にも、今までにない緊張感と危機感がみなぎっていたように思います。直接は、表現がなかったものの、「日本中が、倒産と失業、将来への不安でおののいている時に、民主党はいったい何をしてくれた。内向きのケンカなど、している時では、ないのだ。今のどこにも持っていきようのない国民の怒りを、どうして民主党が代弁して死に物狂いで戦おうとしないのか。」言葉ではない、彼の厳しい表情に、私は、このことを読み取りました。

○知事問題。大儀か和か。

三重県の知事選挙の態勢が、なかなかまとまりません。北川知事の改革をさらに発展させ、市町村や市民レベルまで新しい生き方を完成させようと頑

ました。

空港では、事前に連絡のあったフジテレビの取材クルーが、浮かぬ顔をして待っていました。私の同行取材をしたいということで、待っていたが、肝心の飛行機の出発が遅れそうだと言います。よく欠航してしまう便なので、今日もその可能性があるかと、心細い顔をするのです。その時、「ひょっとして、私達を延吉

張ってくれるような候補者を応援したい。もう一方で、三重県は、この前の高橋千秋参議院議員を当選させた、幅の広い団結ができるベースが存在します。この態勢を守るためには、全員が賛成できる人でないと困ると言う主張があります。両方の条件を満たす人が出ない場合は、どちらを優先させるか。これが私に迫られる決断です。